

# 東京教区時報

第1231号  
2011年11月27日発行  
日本聖公会東京教区  
港区芝公園3-6-18  
編集人 英 久子

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: [comm.tko@nsk.org](mailto:comm.tko@nsk.org)  
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

滝乃川学園に「生活介護棟」が、10月1日に落成しました。知的障がい者が、それぞれの生活の場から通い、日中活動の場を提供し社会の中で自立した生活が出来るように支援するためです。作業的な内容だけでなく、重度の利用者が、生き生きと過ごせるように、レクリエーション的な活動を行うように、様々な配慮がされています。

これを建築した精神は、立教大学でウイリアムズ監督の感化を受けた立教女学校教頭ヨシユア石井亮一師が、1891(明治24)年10月28日の濃尾大震災により、家と両親を失って路頭に迷っている子ども、殊に女の子が人身売買される悲惨な状況を憐れみ、19名を東京に連れ帰り聖二弧女学院(滝乃川学園前身)を創設した心を継承す

「生活介護棟」が  
神の栄光のために

司祭 吉村 庄司

主イエスの言葉「飼い主のいない羊のように弱り果て、打ちひしがれているのを見て、深く憐れまれた」(マタイ9:36)心を心としたいのです。主イエスの行動の動機は、いつも「憐れむ」ことであり、彼の生涯の原点です。「憐れむ」とは、「あわれみのはらわたが、打ち震える」「はらわたが、えぐられるような思い」「断腸の思い」です。よく黄金律と言われる「だから、人にしてもらいたいのと思つことは何でも、あなたがたも人にしなさい」(マタイ7:12)は、主イエスが、実際に私たちキリスト者に対し「人にされたくないことを、人にするな」と言われたと思えます。

東日本大震災の支援活動にも当学園は、実践を展開中です。

(滝乃川学園嘱託チャプレン)

掲載記事転用の場合は事前連絡のこと

11月の代禱・信施奉献  
人権活動を支える主日(11月最終主日11・27) 笹島キリスト教連絡会のため 諸聖徒幼稚園のため 障害者週間のため(13日・19日)  
12月の代禱・信施奉献先  
世界エイズデー(12・1)  
聖書の主日(降臨節第2主日12・4) 野宿生活者支援のため 浅草聖ヨハネ教会日曜給食活動のため 難民・移住労働者のため  
堅信受領  
11月13日 三光教会  
今野穂乃佳(三光)  
11月20日 目白聖公会  
柘植伊佐夫 時田礼子(目白)  
とこしえの平安  
11月6日 岡田 初子(92)

今週・来週の予定  
11月27日~12月10日

27(日) 降臨節第1主日  
主教巡回  
聖パトリック教会  
城南G教会協議会  
下町G教会協議会  
多摩G教会協議会  
環状G教会協議会  
山手G教会協議会

28(月) 祈りと学びの集い:  
パレスチナの平和を願って(~30)

30(水) 教役者会

12月  
3(土) カパティランクリスマス正義と平和協議会:講演会・協議会・運営委員会

4(日) 降臨節第2主日  
6(火) 聖職養成委員会  
9(金) 広報委員会  
礼拝音楽委員会

11月10日 駒井 房(98) 聖ミカエル  
神田キリスト 크리스ト教会(幹事教会)。  
BSA総会(日本聖徒アン  
デレ同胞会第89定期総会) 12  
月3日(土) 14時感謝礼拝、15  
時半総会、聖アンデレ教会で。  
夕の黙想会 5日(月) 19  
時 指導「小栗献牧師(日本基  
督教団神戸聖愛教会牧師)、闇  
の中の希望。アドヴェントの歌  
を黙想。目白聖公会。無料(会場  
献金)。

03(3251)4981・神田

常置委員会報告(11月14日)

\* 教区会前の懇談会を開催。教区会以降12年1・2月のカンタベリー出張、主教会等の予定。小笠原巡回は3月4日に変更、塚田聖職候補生から到着報告受領、小川総主事の本年末退職願い受理など主教報告。

\* 教区墓地礼拝終了、12年度代祷表作成中、財務諸表ほか主教チャプレン・担当主事らの報告を了承。

\* 一部の今年度委員及び次期諸委員長委嘱の主教諮問に答申。

\* 秋の教区会議案を確定。

\* 新年礼拝(聖餐式)は1月7日(土)13時から、主教座聖堂。

\* その他

第17回世界AIDS・DAY

記念礼拝 12月4日(日)17時

聖バルナバ教会。教区人権委員

会・日本キリスト教団新宿コミユニティ教会・カトリック中央協議会HIV/AIDSデスク・ルーテルHIV/AIDSプロジェクト共催。照会 090(9649)0392・打田。0(9649)0392・「いっしょに歩こう」被災者支援チャリティイベント

聖マリア教会クリスマスコンサート 4日(日)14時。出演「コンピニ・ディ・コリスタ。無料席上献金。照会 03(3492)2982・同教会。

東京スコラ・カントールム

クリスマスコンサート 合唱・AI独唱・Or独奏。7日(水)19時。聖パウロ教会。全席自由。千五百円。照会 090(1535)1804・出演者。

繁華街に建つビル内のバプテスト教会では、開会礼拝、親睦交流食事会、全体会を。国宝松本城をとり囲むように点在するカトリック、教団、ルーテル、

## 【クローズアップ】102

種をまこう!

〜松本から種を〜

東京ではまだ暑さの残る9月23・24日、NCC(日本キリスト教協議会)教育部主催「全国教会教育フェスティバル」が、初秋を感じさせる松本で開催されました。東京での「種をまこう!」大会から5年、再開を待たれ今回は松本キリスト教協議会との共催で「種」ときが巡り来れば実を結ぶ」のもとに、6教派約90人の、日曜学校スタッフ、幼・保育園教師、教会教育者、教役者等が信州に集うことができました。我が聖公会からは11人が参加し、親交を新たにしました。

《今、この教会では》

浅草聖ヨハネ教会

牧師の退避・長期不在による管理牧師体制という、かつてない体制下にある当教会。教会の意思で自ら行なっている日曜給食活動が誘因とはいえず、異常な状況と言わざるを得ない。昨年頃からとくに不安定な徴候を抱え、牧師避難に至った状況では、宣教135年(創立120周年)という節目に当たる今秋の催事は不本意に終らせてしまい、礼拝その他の活動・牧会は最低限のことしかできていない。牧師復帰問題は教区特別委員会主導に適従することになるが、給食活動の今後は予断を許さず、教会の宣教方策とともに新たな課題となっていくこと。(伊藤裕元)

掲載記事転用の場合は事前連絡のこと

繁華街に建つビル内のバプテスト教会では、開会礼拝、親睦

交流食事会、全体会を。国宝松本城をとり囲むように点在するカトリック、教団、ルーテル、

聖公会の各教会はそれぞれ分科会の会場に。会場教会に移動時は、歴史ある街並みを教役者が

ガイドよろしく身振り手振りで行道案内。ガイド付き徒歩道草も参加者にとってまさに心種となつたよつです。

分科会は9つに検討準備され

食べる事と教会教育 キャン

プ時の食事、信州名物調理実習

でついに参加者への夕食作り!

声の持つ力 心に響く声。

聖書の物語 聖書を話すときの

七つ道具。教会教育 教会を

挙げて。平和を創り出す、歴

史教育 在日大韓基督教会の歴史。

賛美黙想コミュニケーション

ヨン モメント・スピリチュアルを共に。身体と心のウオー

ミングアップ 自分に癒しを。

共に学ぶクラス作り 学ぶ人から教わる。ペーパークラフト すぐ使える教材作り。

夜は、たくさんの口ウソクを灯して、大震災の体験談を耳に映像を目に、参加者皆で静かな祈りの時を共有しました。

日頃、親交の少ない諸教派諸

教会の仲間との交わりは全国に

散らばる「主にある友」を持つ

事の恵みを考えさせてくれます。

「それぞれの種」を手に帰る友を見送りあいました。

NCC教育部プログラム委員

聖マーガレット教会 今井信子